

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	交通安全団体等活動推進費										担当課	部課名	防災安全部防犯交通安全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	04	細目	001	説明	01	課等の長	宮治 洋介	電話	2531

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 30 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	交通事故の発生を抑制するため、街頭指導事業や各交通安全推進団体を支援するとともに、連携して交通事故防止運動事業を行う。						
対象	3. 団体	交通安全推進団体			7	団体	
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市補助金交付要綱, 藤沢市交通安全団体等活動推進費補助金交付要綱						
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通指導員による交通安全日, 自転車マナーアップ運動日, 各季等の交通安全運動期間中など各地域で交通安全指導等を行った。</li> <li>交通安全推進団体を支援し連携して地域における街頭指導, 学校や通学路における交通安全指導, 各交通安全推進団体加盟職場における交通安全教育及び交通事故防止運動事業等を実施した。</li> </ul>						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : 藤沢北交通安全協会 ) ( 委託等内容 : 学童等交通誘導員事業 ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金及び負担金 : 補助金 : 各交通安全推進団体活動推進費補助 負担金 : 交通指導員貸与物品等負担 ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 報酬 : 交通指導員 役務費 : 県知事表彰用事務手数料 )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 10,123 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬	3,572 千円	交通指導員報酬
		役務費	2 千円	県知事表彰用事務手数料
		委託料	1,521 千円	学童等交通誘導員委託
		負担金補助及び交付金	5,028 千円	各交通安全推進団体活動推進費補助
財源内訳	H30年度 支出済額 10,123 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	10,123 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.80
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.80

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A	19,880	15,567	15,845	17,746
	(1)現金を伴う支出 (千円)	16,817	15,933	16,046	17,832
	事業費(支出済額-②報酬合計)	8,225	8,216	8,313	10,123
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	8,592	7,717	7,733	7,709
	職員数(常勤 非常勤)	0.90   0.00	0.80   0.00	0.80   0.00	0.80   0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	8,136	7,281	7,375	7,334
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	456	436	358	375
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,063	-366	-201	-86
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	3,063	-366	-201	-86
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他 ( )	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	47.26   420,619	36.62   425,105	37.06   427,501	41.34   429,317	

成果実績	指標名	藤沢市内の交通事故発生件数 (1月～12月の集計件数)	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			1,443	単位 件	1,293	単位 件	1,435	単位 件	1,182	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	交通安全啓発活動の成果指標を定めることは困難であるため、具体的な目標値は定められず、実績値を確認することで事業の成果を確認する。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				13,776.85		12,039.44		11,041.81		15,013.54	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	学童等交通誘導員事業（市内一箇所）について，児童が安全に通学できる通学路の見直しを検討する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	P T A，学校，関係団体等と協議及び環境整備の状況を踏まえ，児童等の安全を最優先とした通学路への変更に向けた調整を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	交通安全推進団体と連携して交通事故防止運動事業を実施したことにより，市内の交通事故発生件数の減少に寄与した。
今後の方針	<p><b>事業の方向性</b> <b>見直し(検討中)</b></p> <p>令和元年に入ってから特に全国的に悲惨な交通事故が発生し，ニュース等で多く取り上げられていることから，今後も交通安全推進団体と更に連携して交通事故防止事業等を実施し，交通事故発生の抑制に努めていくとともに，課題となっている学童等交通誘導員事業について，引き続き，P T A，学校，関係団体等と協議及び環境整備の状況を踏まえ，児童等の安全を最優先とした通学路への変更に向けた調整を行う。</p>

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
30	交通指導員の委嘱に関すること	無	無	1	
31	交通指導員の報酬に関すること	無	無	1	
32	交通安全7団体に対する補助金の執行に関すること	無	無	1	
33	交通指導員の貸与物品の負担に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	防災安全部	氏名	平井 護	確認日	2019/8/9
----	-------	----	------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	交通安全運動費										担当課	部課名	防災安全部防犯交通安全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	04	細目	001	説明	02	課等の長	宮治 洋介	電話	2531

## 1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	市民一人一人の交通安全意識の高揚を図り、交通事故を無くすための交通安全運動や各種事業を行う。																
対象	1. 個人	市民														429,317	人
根拠法令等																	
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各季等の交通安全運動街頭キャンペーンや自転車マナーアップ運動等で、チラシや啓発物品の配布等交通安全啓発活動を実施した。</li> <li>藤沢市民交通安全推進総ぐるみ大会や事故多発交差点監視等を実施した。</li> <li>必要箇所に交通安全啓発看板やシール等を設置した。</li> </ul>																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 藤沢市交通安全対策協議会 等)																
	(委託等内容: 藤沢市交通安全事業 等)																
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ):																
<input type="checkbox"/> その他 ( )																	

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 7,106 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	360 千円	
		旅費	28 千円	普通旅費
		需用費	5,627 千円	交通安全啓発用物品等, 交通安全周知啓発用看板等購入
		委託料	1,091 千円	事故多発路線交差点等特別監視業務委託 等
財源内訳	H30年度 支出済額 7,106 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (交通安全対策基金繰入金)	907 千円	
一般財源	6,199 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	1.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A	23,764	22,643	21,597	18,540
	(1)現金を伴う支出 (千円)	20,360	22,001	21,899	18,669
	事業費(支出済額-②報酬合計)	10,813	10,427	10,299	7,106
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	9,547	11,574	11,600	11,563
	職員数(常勤 非常勤)	1.00   0.00	1.20   0.00	1.20   0.00	1.20   0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	9,040	10,921	11,063	11,000
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	507	653	537	563
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,404	642	-302	-129
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	3,404	642	-302	-129
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他( )	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	56.50   420,619	53.26   425,105	50.52   427,501	43.18   429,317	

成果実績	指標名	藤沢市内の交通事故発生件数 (1月～12月の集計件数)	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			1,443	単位 件	1,293	単位 件	1,435	単位 件	1,182	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	交通安全啓発活動の成果指標を定めることは困難であるため、具体的な目標値は定められず、実績値を確認することで事業の成果を確認する。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				16,468.47		17,511.99		15,050.17		15,685.28	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	各季等の運動等について、より効果的な交通安全運動を検討する。
(2) (1)解決のための今後の取組	重点的に取り組む事業の検討を行い、より効果的な交通安全運動を実施していく。また、事業にかかる経費の見直しを図っていく。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	交通安全運動や各種事業を実施したことにより市民一人一人の交通安全意識の高揚を図り、市内の交通事故発生件数の減少に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	<b>現状維持</b>
	令和元年に入ってから特に全国的に悲惨な交通事故が発生し、ニュース等で多く取り上げられていることから、今後も交通事故を減らすため、交通安全運動や各種事業を行い、市民一人一人の交通安全意識の高揚を図る。併せて、交通安全運動については経費の見直しを図るとともに、重点的に行う事業の検討等を行い、より効果的に交通安全運動が実施できるよう検討する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
22	交通安全啓発事業委託に関すること	無	無	1	1
23	広報活動委託に関すること	無	無	1	1
24	自転車マナーアップ運動の企画調整	無	無	1	
34	片瀬江ノ島駅前車両侵入ゲート開閉業務に対する謝礼	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	防災安全部	氏名	平井 護	確認日	2019/8/9
----	-------	----	------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	交通安全教育指導費										担当課	部課名	防災安全部防犯交通安全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	04	細目	001	説明	03	課等の長	宮治 洋介	電話	2531

## 1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務									
事業概要	子どもや高齢者を中心に、交通安全意識の高揚を図るため、交通安全教育を行う。															
対象	1. 個人 市民														429,317	人
根拠法令等																
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園、保育園、学校等各層に合わせた交通安全教室を実施した。                      幼児(幼稚園・保育園)99回、小学生50回、中学生・高校生6回、高齢者・一般70回</li> <li>二輪車安全運転教室を3回実施した。</li> <li>65歳以上のドライバーを対象とした、シルバー四輪ドライバースクールを2回実施した。</li> </ul>															
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 藤沢市交通安全対策協議会) (委託等内容: 二輪車等安全運転教室業務, 交通安全講習会業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ): <input type="checkbox"/> その他 ( )															

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 11,434 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報酬	7,092 千円	交通安全教育専門員報酬
		旅費	393 千円	交通安全教育専門員通勤費用
		需用費	3,327 千円	各教室用物品購入費・燃料費等
財源内訳	H30年度 支出済額 11,434 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		その他 ( )		
		一般財源	11,434 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.90
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	3.00
合計	3.90

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	516,815	326,741	213,717	213,593			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	27,217	20,323	20,359	20,106			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	10,972	4,550	4,567	4,342			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	16,245	15,773	15,792	15,764			
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 2.40	0.90 3.00	0.90 3.00	0.90 3.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	9,040	8,191	8,297	8,250			
	②報酬合計(非常勤)	6,698	7,092	7,092	7,092			
	③退職金相当額	507	490	403	422			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	489,598	306,418	193,358	193,487			
	①減価償却費	486,194	306,788	193,584	193,584			
	②退職給与引当金繰入額	3,404	-370	-226	-97			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	1228.70	420,619	768.61	425,105	499.92	427,501	497.52	429,317

成果実績	指標名	藤沢市内の交通事故発生件数 (1月～12月の集計件数)	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			1,443	単位 件	1,293	単位 件	1,435	単位 件	1,182	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	交通安全啓発活動の成果指標を定めることは困難であるため、具体的な目標値は定められず、実績値を確認することで事業の成果を確認する。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				358,153.15		252,699.92		148,931.71		180,704.74	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	交通事故件数や事故発生割合等の傾向に合わせ、効果的な講習会等を検討する。
(2) (1)解決のための今後の取組	制度改正の周知啓発, 交通事故の発生状況などを踏まえ、更に効果的な講習会等を実施していく。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	各年齢層や状況に沿ったきめ細やかな交通安全教育を行ったことにより、交通安全意識の高揚を図り、市内の交通事故発生件数の減少に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	<b>現状維持</b>
	令和元年に入ってから特に全国的に悲惨な交通事故が発生し、ニュース等で取り上げられていることから、今後も交通事故を減らすため、制度改正の周知啓発, 交通事故の発生状況などを踏まえ、更に効果的な講習会等交通安全教育を行い、子どもや高齢者を中心に交通安全意識の高揚を図る。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
25	交通安全ビデオ・DVDの貸出	無	無	1	1
26	藤沢市交通安全教育専門員の任用に関する事	無	無	1	1
27	交通安全教室の開催	無	無	1	
28	二輪車安全運転教室の委託に関する事	無	無	1	
29	交通安全講習会の委託に関する事	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	防災安全部	氏名	平井 護	確認日	2019/8/9
----	-------	----	------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	交通安全対策基金積立金										担当課	部課名	防災安全部防犯交通安全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	04	細目	002	説明	01	課等の長	宮治 洋介	電話	2531

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	交通安全対策基金に対して寄付金及び利子収入を積み立てる。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	条例(市) 藤沢市交通安全対策条例						
事業実施内容	交通安全対策事業の財源に資する。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (積立金: 寄付金の積み立て, 利子収入の積み立て)						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,615 千円	事業費節別内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)										
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
		積立金	1,615 千円	交通安全対策事業の資源											
財源内訳	H30年度 支出済額 1,615 千円	事業費節別財源内訳			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">平成30年度</th> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.10</td> </tr> </table>	平成30年度		正規職員等	0.10	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.10
		平成30年度													
		正規職員等	0.10												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.10												
費目	支出済額(千円)														
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他 (交通安全対策基金 利子収入・交通安全 対策基金寄付金)	1,615 千円														
一般財源															

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
行政費用 A	1,724	1,636	2,356	2,568
(1)現金を伴う支出 (千円)	1,384	1,470	2,550	2,579
事業費(支出済額-②報酬合計)	429	23	1,583	1,615
償還金利子	0	0	0	0
人件費合計(①+②+③)	955	1,447	967	964
職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.15 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00
参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
①職員給与合計(常勤)	904	1,365	922	917
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
③退職金相当額	51	82	45	47
(2)現金を伴わない支出 (千円)	340	166	-194	-11
①減価償却費	0	0	0	0
②退職給与引当金繰入額	340	166	-194	-11
③不納欠損額	0	0	0	0
④その他( )	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	4.10 420,619	3.85 425,105	5.51 427,501	5.98 429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
			実績	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		市民・団体等からの寄付金に対して指標の設定はできないため。											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	寄付金の確保
(2) (1)解決のための今後の取組	交通安全推進総ぐるみ大会等のイベントでの募金活動及びふるさと納税制度のPR活動を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	交通安全対策基金への寄付及び利子収入により，交通安全対策事業の財源に資することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後も，寄付金の確保のための活動を行い，交通安全対策事業への財源に資する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
30	交通安全対策基金に関すること	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	防災安全部	氏名	平井 護	確認日	2019/8/9
----	-------	----	------	-----	----------



# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	防犯団体活動推進費										担当課	部課名	防災安全部防犯交通安全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	04	細目	003	説明	01	課等の長	宮治 洋介	電話	2531

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 37 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	藤沢市防犯連合協議会の活動費を補助する。				
対象	3. 団体	藤沢市防犯連合協議会			
根拠法令等	その他(要綱等)	藤沢市防犯団体活動推進費補助金交付要綱			
事業実施内容	地区防犯協会, 藤沢防犯協議会及び藤沢北防犯協議会等と連携し, 市内の自主的防犯活動の推進及び防犯対策の強化を行った。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施				
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : )				
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : 藤沢市防犯団体活動推進費補助 )				
	<input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳				
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容		
	3,432 千円	負担金補助及び交付金	3,432 千円	藤沢市防犯団体活動推進費補助		
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	支出済額	費目	支出済額(千円)	平成30年度		
	3,432 千円	分担金・負担金		正規職員等		0.50
		使用料・手数料		再任用短時・任期付短時職員		0.00
		国庫支出金		非常勤職員		0.00
		県支出金		合計		0.50
		その他( )				
	一般財源		3,432 千円			

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	6,022	10,562	7,803	8,197			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	5,341	9,220	8,266	8,251			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	3,432	3,432	3,432	3,432			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,909	5,788	4,834	4,819			
	職員数(常勤 非常勤)	0.20 0.00	0.60 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	1,808	5,461	4,610	4,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	101	327	224	235			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	681	1,342	-463	-54			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	681	1,342	-463	-54			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	14.32	420,619	24.85	425,105	18.25	427,501	19.09	429,317

成果実績	指標名	刑法犯認知件数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	3,014	単位 件	3,115	単位 件	2,572	単位 件	2,400	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		防犯活動の成果指標を定めることは困難であるため、具体的な目標値は定められず、実績値を確認することで事業の成果を確認する。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,998.01	3,390.69	3,033.83	3,415.42						

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	振り込み詐欺被害件数について，過去最悪となった平成29年度を上回る状況となっており，効果的な対策が課題となっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	市民，警察，行政が一体となったマルチパートナーシップをもとに，被害防止に向けた効果的な手法について検討していく。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民と行政が一体となって防犯活動に取り組む体制づくりと防犯対策の強化を行うことにより，犯罪の抑止に努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き，市民と行政が一体となって防犯活動に取り組む体制づくりと防犯対策の強化を行うことにより，犯罪のない安全安心なまちづくりの推進を図る。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
2	防犯団体活動推進費補助事務に関すること	無	無	1	1
17	防犯関係機関との連絡調整に関すること	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	防災安全部	氏名	平井 護	確認日	2019/8/9
----	-------	----	------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	防犯灯電気料補助金	担当課	部課名	防災安全部防犯交通安全課
予算科目コード	会計 01 款 03 項 01 目 04 細目 003 説明 02		課等の長	宮治 洋介 電話 2531

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 33 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	防犯灯の維持管理を行っている自治会・町内会等に対しその電気料を補助し、夜間の通行の安全確保を図る。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市防犯灯補助金交付要綱				
事業実施内容	防犯灯の維持管理を行っている自治会・町内会等に対し、その電気料の補助を行った。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施				
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : )				
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : 防犯灯電気料補助 )				
	<input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	65,920 千円	負担金補助及び交付金	65,920 千円	防犯灯電気料補助
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	65,920 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
	一般財源	65,920 千円		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.40
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.40

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト支出	行政費用 A	98,579	67,668	65,739	69,732			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	97,218	68,018	65,502	69,775			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	93,399	65,125	61,635	65,920			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	3,819	2,893	3,867	3,855			
	職員数(常勤 非常勤)	0.40   0.00	0.30   0.00	0.40   0.00	0.40   0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	3,616	2,730	3,688	3,667			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	203	163	179	188			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,361	-350	237	-43			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,361	-350	237	-43			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	234.37	420,619	159.18	425,105	153.78	427,501	162.43	429,317

成果実績	指標名	刑法犯認知件数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	3,014	単位 件	3,115	単位 件	2,572	単位 件	2,400	単位 件
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			防犯活動の成果指標を定めることは困難であるため、具体的な目標値は定められず、実績値を確認することで事業の成果を確認する。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			32,707.03	21,723.27	25,559.49	29,055.00					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	夜間の通行の安全確保と犯罪のない安全で安心なまちづくりにおいて，防犯灯は必要不可欠である。今後電気料補助を含む防犯灯補助事業について，管理主体や事業内容について見直しの必要性も含め，調整・検討する。
(2) (1)解決のための今後の取組	藤沢市防犯連合協議会や防犯灯協力会等と見直しの必要性も含め，協議検討する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	防犯灯の維持管理を行っている自治会・町内会等に対しその電気料を補助し，夜間の通行の安全確保と犯罪のない安全安心なまちづくりに寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	実施手法の見直し
	今後も，夜間の通行の安全確保と犯罪のない安全安心なまちづくりを推進するため，防犯灯の維持管理を行っている自治会・町内会等に対し，引き続きその電気料の補助を行っていく。また，電気料補助を含む防犯灯補助事業について，管理主体や事業内容の見直しの必要性も含め，調整・検討する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
20	防犯灯電気料補助金に関すること	有	有	3	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	防災安全部	氏名	平井 護	確認日	2019/8/9
----	-------	----	------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	防犯意識高揚事業費	担当課	部課名	防災安全部防犯交通安全課	
予算科目コード	会計 01 款 03 項 01 目 04 細目 003 説明 03	課等の長	宮治 洋介	電話	2531

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 59 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	防犯意識の高揚を図る看板等の掲出や防犯市民のつどいを開催し、市民の防犯意識を高め、犯罪抑止を図る。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯意識の高揚を図る看板等の掲出</li> <li>・防犯市民のつどいを開催</li> </ul>				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : 藤沢市防犯連合協議会 ) ( 委託等内容 : 防犯市民のつどい企画運営業務 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	28 千円	防犯意識高揚のための消耗品の購入
		委託料	188 千円	防犯市民のつどい企画運営業務
	216 千円			
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
	216 千円	216 千円		
				<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b>
			平成30年度	
正規職員等			0.40	
再任用短時・任期付短時職員			0.00	
非常勤職員			0.00	
合計			0.40	

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A	4,172	7,060	3,375	4,028
	(1)現金を伴う支出 (千円)	3,151	6,058	4,150	4,071
	事業費(支出済額-②報酬合計)	287	270	283	216
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	2,864	5,788	3,867	3,855
	職員数(常勤 非常勤)	0.30   0.00	0.60   0.00	0.40   0.00	0.40   0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	2,712	5,461	3,688	3,667
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	152	327	179	188
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,021	1,002	-775	-43
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	1,021	1,002	-775	-43
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他( )	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		9.92   420,619	16.61   425,105	7.89   427,501	9.38   429,317

成果実績	指標名	刑法犯認知件数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			3,014	単位 件	3,115	単位 件	2,572	単位 件	2,400	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		防犯活動の成果指標を定めることは困難であるため、具体的な目標値は定められず、実績値を確認することで事業の成果を確認する。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				1,384.21		2,266.45		1,312.21		1,678.33	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	防犯対策強化事業と重なる部分もあるため，事業費を統合し事務経費の効率化を図る必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	防犯対策強化事業費と統合

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	防犯意識高揚事業費は，市民の防犯意識の高揚を図るうえで必要である。	
今後の方針	事業の方向性	<b>事業統合</b>
	防犯対策強化事業と重なる部分もあり，消耗品等を併せて購入するなどの事務経費の効率化を図るため，平成31年度から防犯対策強化事業費と統合を行う。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	防犯市民のつどいの実施等防犯意識の啓発に関すること	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	防災安全部	氏名	平井 護	確認日	2019/8/9
----	-------	----	------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	防犯対策強化事業費										担当課	部課名	防災安全部防犯交通安全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	04	細目	003	説明	04	課等の長	宮治 洋介	電話	2531

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 18 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民、警察、行政が一体となったマルチパートナーシップをもとに、防犯活動を推進する。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等							
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こども110番事業や防犯街頭キャンペーン等での防犯ブザーの貸出し等により街頭犯罪抑止環境を整備した。</li> <li>・ 防犯パトロール用物品の支給により市民防犯パトロール隊の活動を支援した。</li> <li>・ 防犯対策システム等による防犯情報広報啓発事業を実施した。</li> <li>・ 暴力追放藤沢市民総ぐるみ大会等、暴力追放推進協議会等の活動を支援した。</li> </ul>						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 直接実施</li> <li>■ 委託・指定管理 ( 委託先 : (株)ファルコン )</li> <li>( 委託等内容 : 防犯対策システムソフトウェア保守管理 )</li> <li>■ 補助金・負担金 ( 負担金 : 暴力追放推進総ぐるみ大会等負担金 )</li> <li>■ その他 ( 賃金:パート職員賃金, 旅費:普通旅費, 需用費:啓発物品等, 役務費:特定交通乗用具 搭乗中傷害保険 等 )</li> </ul>						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 6,389 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		賃金	1,464 千円	パート職員賃金
		需用費	2,616 千円	啓発物品等消耗品+燃料費+車両点検
		委託料	1,245 千円	防犯対策システム保守管理業務等
		負担金補助及び交付金	760 千円	防犯関係協議会等負担金・補助金
		その他	304 千円	旅費・保険料・FAX使用料
財源内訳	H30年度 支出済額 6,389 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
		一般財源	6,389 千円	

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.60
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.60

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	29,781	31,872	19,485	12,106			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	28,181	32,578	20,310	12,171			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	18,634	24,862	14,510	6,389			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,547	7,716	5,800	5,782			
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.00	0.80 0.00	0.60 0.00	0.60 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	9,040	7,281	5,531	5,500			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	507	436	269	282			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,600	-707	-825	-65			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,600	-707	-825	-65			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	70.80	420,619	74.97	425,105	45.58	427,501	28.20	429,317

成果実績	指標名	刑法犯認知件数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	3,014	単位 件	3,115	単位 件	2,572	単位 件	2,400	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		防犯活動の成果指標を定めることは困難であるため、具体的な目標値は定められず、実績値を確認することで事業の成果を確認する。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		9,880.89		10,231.78		7,575.82		5,044.17			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	振り込め詐欺被害件数について，過去最悪となった平成29年度を上回る状況となっており，効果的な対策が課題となっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	平成30年度に公益社団法人藤沢法人会より迷惑電話防止機器の寄贈を受け，高齢者の方を対象とした機器の貸出し事業を行った。本年度も引き続き貸出し台数を増やして事業を行い，また，あらゆる機会を捉え，振り込め詐欺被害防止のチラシ等の配布等啓発活動を行っていく。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民と一体となった犯罪防止に取り組む体制づくりを構築し，防犯対策の強化を行うことにより，犯罪の抑止に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後も，市民，警察，関係団体と連携しながら，さまざまな防犯活動を積極的に展開し，犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進していく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
4	自主防犯パトロール隊の活動補助事務に関する事	無	無	1	1
7	防犯対策システムの運営に関する事	無	有	3	
8	こども110番の実施に関する事	無	無	3	
9	青色回転灯の貸出に関する事	無	無	1	1
10	暴力追放推進協議会活動支援に関する事	無	無	3	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	防災安全部	氏名	平井 護	確認日	2019/8/9
----	-------	----	------	-----	----------



# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	安全・安心まちづくり対策会議事業費	担当課	部課名	防災安全部防犯交通安全課		
予算科目コード	会計 01 款 03 項 01 目 04 細目 003 説明 05		課等の長	宮治 洋介	電話	2531

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 18 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市民, 警察, 行政が一体となった, 犯罪のない安全・安心まちづくり対策会議による, 総合的な防犯対策を推進する。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	その他(要綱等) 犯罪のない安全・安心まちづくり対策会議設置要綱				
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホットスポットパトロール実習(湘南台地区)を実施した。</li> <li>・地域安全マップ指導者養成講座(学校安全担当者・各地区防犯協会)を開催し, 地域安全マップ作り(滝の沢小・駒寄小)を実施した。</li> <li>・夏期藤沢駅南口周辺夜間パトロール, 夏期江の島周辺夜間パトロール, 繁華街の環境浄化パトロールを実施した。</li> <li>・市内一斉防犯パトロール出発式を実施し, 青色回転灯装備車両による一斉パトロールを行った。</li> <li>・防犯街頭キャンペーンを藤沢駅・辻堂駅・湘南台駅で実施し, 防犯啓発グッズの配布, 防犯ブザーの無料貸出等を行った。</li> </ul>				
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( ) : ( ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ) : ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳			
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容	
	支出済額	報償費	505 千円	地域安全マップ指導者養成講座等講師謝礼	
		需用費	471 千円	防犯街頭キャンペーン用啓発物品等購入	
	976 千円				
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			
		費目	支出済額(千円)		
	976 千円	支出済額	分担金・負担金		
			使用料・手数料		
			国庫支出金		
			県支出金		
			その他 ( )		
	一般財源		976 千円		

	平成30年度
正規職員等	0.60
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.60

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

#### 4. コスト分析

年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
コスト	支出	行政費用 A	7,847		8,508		6,471		6,693	
		(1)現金を伴う支出 (千円)	6,145		7,850		6,959		6,758	
		事業費(支出済額-②報酬合計)	1,371		1,098		1,159		976	
		償還金利息	0		0		0		0	
		人件費合計(①+②+③)	4,774		6,752		5,800		5,782	
		職員数(常勤 非常勤)	0.50	0.00	0.70	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00
		参考:正規職員平均給与	9,040		9,101		9,219		9,167	
		①職員給与合計(常勤)	4,520		6,371		5,531		5,500	
		②報酬合計(非常勤)	0		0		0		0	
		③退職金相当額	254		381		269		282	
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702		658		-488		-65	
		①減価償却費	0		0		0		0	
		②退職給与引当金繰入額	1,702		658		-488		-65	
		③不納欠損額	0		0		0		0	
		④その他( )	0		0		0		0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		18.66	420,619	20.01	425,105	15.14	427,501	15.59	429,317	
成果実績	指標名	刑法犯認知件数	目標	-	-	-	-	-	-	
			実績	3,014	3,115	2,572	2,400			
			単位	単位/件	単位/件	単位/件	単位/件			
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			防犯活動の成果指標を定めることは困難であるため、具体的な目標値は定められず、実績値を確認することで事業の成果を確認する。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			2,603.52		2,731.30		2,515.94		2,788.75	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

#### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進のため、街頭犯罪や特殊詐欺等に対する効果的な対策が課題となっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	犯罪機会論に基づく対策や多様化する犯罪への対応について市民や警察、関係団体等と連携し、事業の検証を行うとともに、その結果に応じて事業にかかる経費の見直しを図っていく。

#### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	犯罪のない安全・安心まちづくり対策会議による事業を実施し、犯罪のない安全・安心まちづくりの推進に寄与した。
今後の方針	事業の方向性 <b>現状維持</b>
	引き続き犯罪のない安全・安心まちづくり対策会議による、総合的な防犯対策を推進する。 犯罪機会論に基づく対策や多様化する犯罪への対応について市民や警察、関係団体等と連携し、事業の検証を行う。

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
3	街頭犯罪抑止環境整備に関すること	無	無	1	1
5	防犯ブザーの貸出キャンペーンの実施に関すること	無	無	1	1
13	安全・安心まちづくり対策会議及び関連イベントの実施に関すること	無	無	3	1
14	夏期江の島周辺夜間パトロールの実施に関すること	無	無	3	1
15	繁華街環境浄化パトロールの実施に関すること	無	無	3	1
16	地域安全マップ指導者養成講座の実施に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	防災安全部	氏名	平井 護	確認日	2019/8/9
----	-------	----	------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	防犯灯設置費・補修費補助金										担当課	部課名	防災安全部防犯交通安全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	04	細目	003	説明	06	課等の長	宮治 洋介	電話	2531

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 37 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	自治会・町内会等が管理する防犯灯の設置及び補修費を補助する。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	その他(要綱等)						
事業実施内容	自治会・町内会等が管理する防犯灯の設置費及び補助費の補助を実施した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> ( : ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : 防犯灯設置費及び補修費補助 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳													
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
	9,622 千円	負担金補助及び交付金	9,622 千円	防犯灯設置費及び補修費補助											
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.70</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.70</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.70	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.70
		平成30年度													
	正規職員等	0.70													
	再任用短時・任期付短時職員	0.00													
	非常勤職員	0.00													
	合計	0.70													
支出済額	費目	支出済額(千円)													
9,622 千円	分担金・負担金														
	使用料・手数料														
	国庫支出金	670 千円													
	県支出金														
	その他( )														
	一般財源	8,952 千円													

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	12,732	10,044	18,432	16,292
	(1)現金を伴う支出 (千円)	10,690	10,569	17,765	16,367
	事業費(支出済額-②報酬合計)	4,962	6,229	10,999	9,622
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	5,728	4,340	6,766	6,745
	職員数(常勤 非常勤)	0.60 0.00	0.45 0.00	0.70 0.00	0.70 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	5,424	4,095	6,453	6,417
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	304	245	313	328
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,042	-525	667	-75
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	2,042	-525	667	-75
③不納欠損額	0	0	0	0	
④その他( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	30.27 420,619	23.63 425,105	43.12 427,501	37.95 429,317	

成果実績	指標名	刑法犯認知件数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			3,014	単位	3,115	単位	2,572	単位	2,400	単位
				件		件		件		件	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		防犯活動の成果指標を定めることは困難であるため、具体的な目標値は定められず、実績値を確認することで事業の成果を確認する。								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		4,224.29		3,224.40		7,166.41		6,788.33		

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	夜間の通行の安全確保と犯罪のない安全で安心なまちづくりにおいて，防犯灯は必要不可欠である。今後電気料補助を含む防犯灯補助事業について，管理主体や事業内容について見直しの必要性も含め，調整・検討する。
(2) (1)解決のための今後の取組	藤沢市防犯連合協議会や防犯灯協力会等，関係団体と見直しの必要性も含め協議検討する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	自治会・町内会等が管理する防犯灯の設置費及び補修費を補助し，夜間の通行の安全と犯罪防止を図った。	
今後の方針	事業の方向性	見直し(検討中)
	今後も，夜間の通行の安全確保と犯罪のない安全安心なまちづくりを推進するため，防犯灯の維持管理を行っている自治会・町内会等に対し，引き続きその設置費・補修費の補助を行っていく。また，電気料補助を含む防犯灯補助事業について，管理主体や事業内容の見直しの必要性も含め，調整・検討する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
18	防犯灯設置費補助金に関すること	有	有	3	1
19	防犯灯補修等維持管理費補助金に関すること	有	有	3	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	防災安全部	氏名	平井 護	確認日	2019/8/9
----	-------	----	------	-----	----------